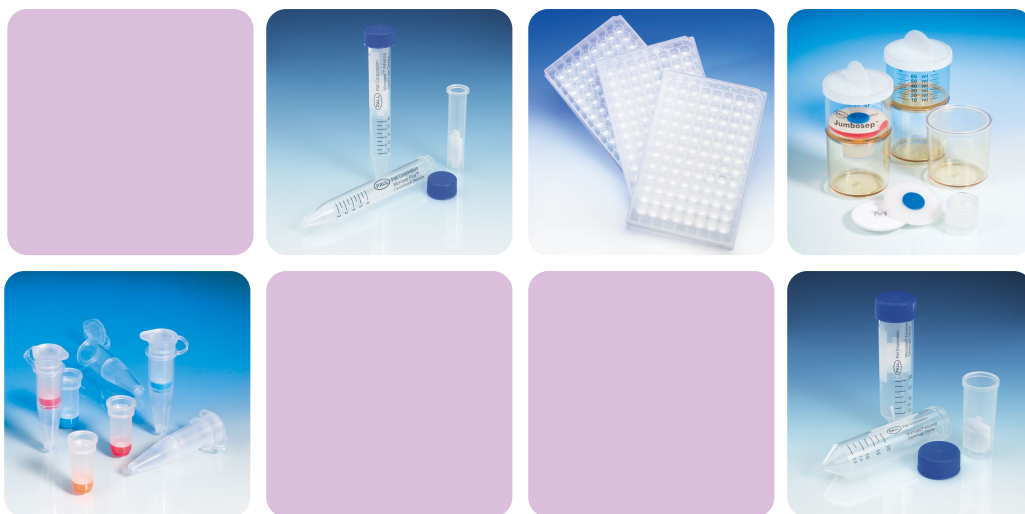




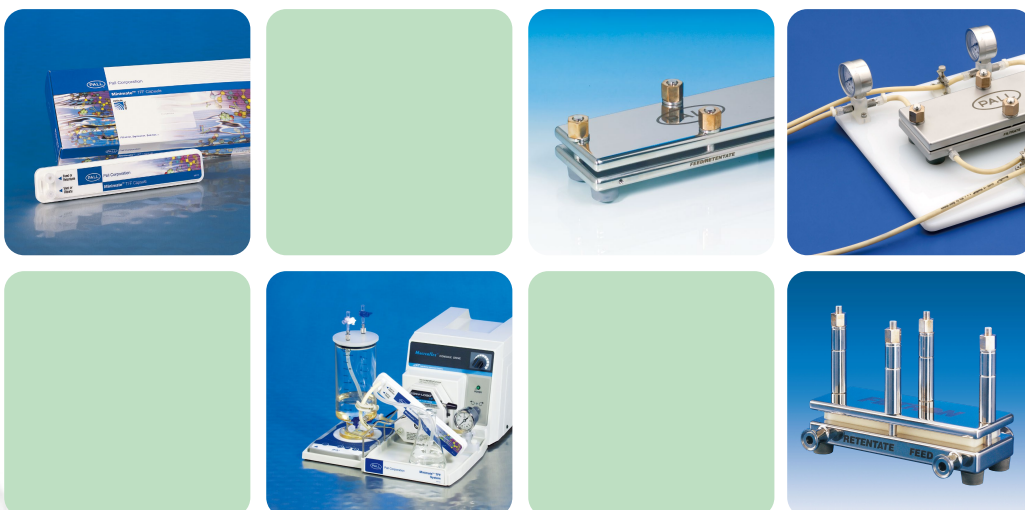
Laboratory

ポール・限外ろ過デバイス

遠心ろ過デバイス



ラボ用TFF限外ろ過デバイス



ポールは世界最大の精密ろ過・分離の専門メーカーです。

1946年に米国で設立されて以来、独自の高い技術力によって、お客様のさまざまな要求にお応えし、経済的で信頼できるろ過システムを世界中に提供し続けています。

ライフサイエンス分野では、試験・研究段階に必要な製品を幅広く取り揃え、大学の研究室から企業の研究所にいたるまで、あらゆる分野の研究者をサポートしています。

ポールのオメガメンブレンは、

タンパク質などの試料の迅速かつ確実な **濃縮、脱塩、分離、回収** を可能にします

ポールの遠心ろ過デバイスなら

高速ろ過

処理時間を
短縮することができます

低タンパク吸着性メンブレン使用

非特異結合を
最小に抑えます

低DNA結合性メンブレン

サンプルロスが
最小限に抑えられます

低濃度試料溶液

高い回収率を
得ることができます

デッドストップ機構の採用

遠心ろ過完了時の
乾燥固着を防止します

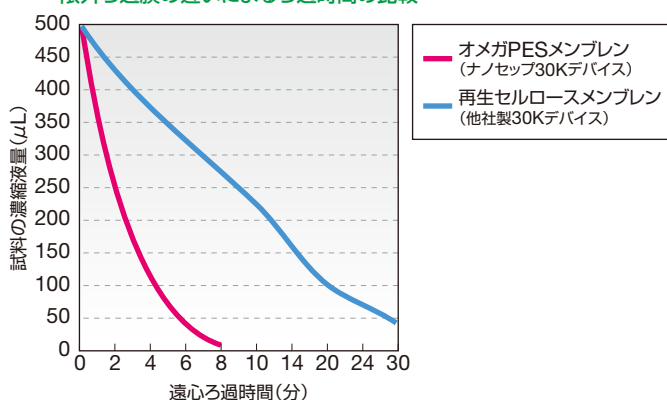
デバイスの色分け

広範囲な分画分子量や孔径を
簡単識別できます

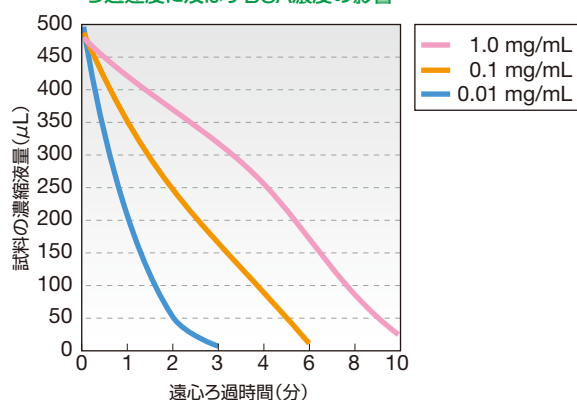
迅速な試料処理時間

ポールの遠心ろ過デバイスは迅速な試料処理時間を実現します。

限外ろ過膜の違いによるろ過時間の比較



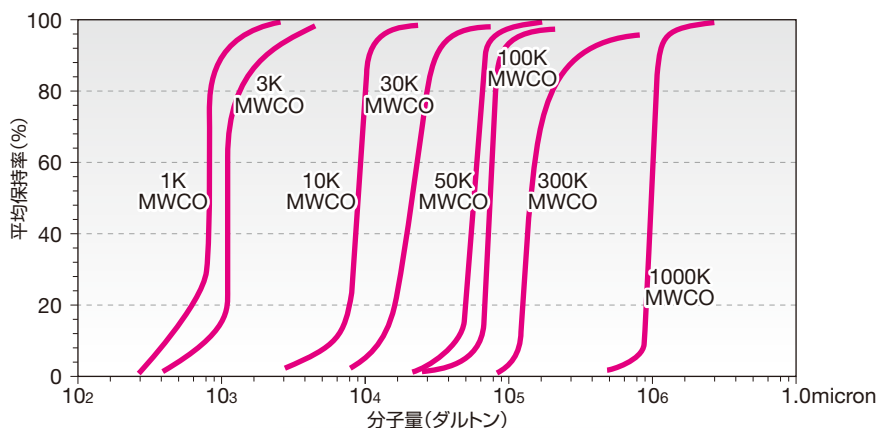
ろ過速度に及ぼすBSA濃度の影響



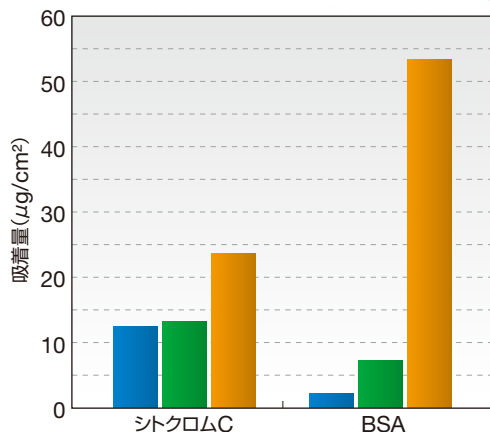
オメガメンブレンの選択透過性

各曲線の鋭い立ち上がり、オメガメンブレンの高い選択透過性を示しています。

膜の孔径分布が非常に狭いため、膜の分画分子量より小さい分子量の分子に対する保持率を最小に抑えます。



メンブレンへの非特異的タンパク吸着率が非常に低いため、高い回収率を実現します。



シトクロムCとBSAでのオメガメンブレン100K、再生セルロースメンブレン100K、従来のポリエーテルスルホンメンブレンとのタンパク吸着量の比較
(Reference : Strumeyer, Dr. David H., Department of Biochemistry and Microbiology, Rutgers university.)

多様な分画分子量および孔径

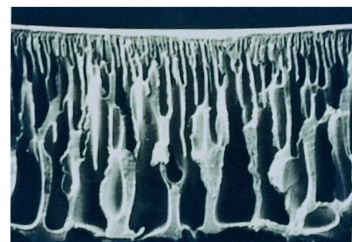
多様な分画分子量および孔径を取り揃えており、さまざまなアプリケーションに最適なメンブレンをラインナップ。広範囲な分画分子量／孔径を識別しやすいように色で分けています。

分画分子量／孔径 カラーコード	試料容量	オメガメンブレン						バイオイナート/スーポアメンブレン		GHPメンブレン
		1K	3K	10K	30K	100K	300K	0.2μm	0.45μm	0.45μm
		イエロー	グレー	ブルー	レッド	透明	オレンジ	アクア	ワイルドベリー	透明
ナノセップ	50 ~ 500μL		●	●	●	●	●	●	●	●
マイクロセップ	~ 3.5 mL (MF~ 2.0 mL)	●	●	●	●	●	●	●*	●*	
マクロセップ	~ 15 mL	●	●	●	●	●	●	●*	●*	
ジャンボセップ	15 ~ 60 mL		●	●	●	●	●			

※はスーポアメンブレンです。

分画分子量(MWCO:Molecular Weight Cut Off)の選択

限外ろ過膜のMWCOは、「その膜で90%以上保持できる低濃度の球状溶質(典型的なタンパク質分子)の概略の分子量(kD:キログルトン表示)」と定義されています。下記の表は、一般的な溶質に対するポール・ライフサイエンスの限外ろ過膜の溶質保持特性をMWCOで示しており、また、タンパク質及び核酸、ウイルスを試料として用いる場合のMWCO選択の目安を示しています。尚、分子の形状は膜の保持能力に大きく影響します。例えば、DNAのような直鎖状の分子は、同じ分子量の球状分子を阻止できるような膜を通りぬけることがありますのでご注意ください。



オメガメンブレン断面構造

タンパク質を濃縮する(膜上にタンパク質を保持する)場合

対象となるタンパク質分子量の**1/3~1/6**のMWCOを選ぶことを推奨します。迅速な処理を重要とする場合は1/3のMWCOを選び、保持率が重要な場合には1/6のMWCOを選ぶことを推奨します。

※注意 限外ろ過膜のMWCOは、各メーカーでそれぞれ異なる分子を使用して決められています。特定の用途に対する性能を確認するために、予備実験を行うことを推奨します。

膜を通してタンパク質を透過させる場合

対象となるタンパク質分子量の**3倍~6倍**のMWCOを選ぶことを推奨します。透過させる分子と膜上に保持したい分子が混在している試料では、保持率が重要な場合は透過させるタンパク質の3倍のMWCOを選び、迅速な処理を重要とする場合には6倍のMWCOを選ぶことを推奨します。

溶質保持特性

標準的溶質保持率⁺

分画分子量 ⁺⁺⁺	1K	3K	10K	30K	50K	100K	300K	1000K
ショ糖 (0.34K)	●	●						
ラフィノース (0.5K)	●	●						
ビタミンB12 (1.3K)	●	●						
パントラシン (1.4K)	●	●	●	●	●			
インスリン (5.72K)	●	●	●	●	●			
シトクロムC (12.5K)	●	●	●	●	●			
リボヌクレアーゼA (13.5K)		●	●	●	●			
α-ラクトアルブミン (14.2K)		●	●	●	●			
ライソザイム (14.4K)		●	●	●	●			
ミオグロビン (17.8K)		●	●	●	●	●		
α-キモトリプシノーゲンA (24.5K)			●	●	●	●		
β-ラクトグロブリンB (36K)			●	●	●	●		
オバルブミン (44K)				●	●	●	●	
アルブミン (67K)				●	●	●	●	●
アルコールデヒドロゲナーゼ (150K)					●	●	●	●
IgG (160K)					●	●	●	●
β-アミラーゼ (200K)						●	●	●
アポフェリチン (443K)					●	●	●	●
ウレアーゼ (90 ~ 650K)					●	●	●	●
チログロブリン (669K)						●	●	●
IgM (960K)						●	●	●
牛血清					●	●	●	●
ラテックスビーズ (0.085 μm)						●	●	●
ラテックスビーズ (0.137 μm)						●	●	●
ラテックスビーズ (0.212 μm)							●	●

- 1~4%
- 5~10%
- 20~80%
- 85~95%
- 96~99%

+ 攪拌式セルシステムを使用して得られたデータ
++ 0.1~0.2%バッファー溶液で、加圧3.7 kg/cm²
+++ 分画分子量(ダルトン)

実際の保持特性と選択透過性は、ろ過圧、分子の形状、他の溶質の存在、吸着性、イオン強度等で変動する可能性があります。

分画分子量(MWCO)の選択の目安

タンパク質アプリケーション

MWCO	膜の公称孔径*	分子サイズ	生物学的分子量
1K			3K - 10K
3K			10K - 20K
10K			30K - 90K
30K			90K - 180K
50K	5 nm	15 - 30 nm	150K - 300K
100K	10 nm	30 - 90 nm	300K - 900K
300K	35 nm	90 - 200 nm	900K - 1,800K
1000K	100 nm	300 - 600 nm	> 3,000K

核酸アプリケーション

MWCO	塩基対(二本鎖)	塩基(一本鎖)
1K	5 - 16 bp	9 - 32 bs
3K	16 - 32 bp	32 - 65 bs
10K	50 - 145 bp	95 - 285 bs
30K	145 - 285 bp	285 - 570 bs
50K	240 - 475 bp	475 - 950 bs
100K	475 - 1,450 bp	950 - 2,900 bs
300K	1,450 - 2,900 bp	2,900 - 5,700 bs
1000K	4,800 - 5,700 bp	> 9,500 bs

ウイルスアプリケーション

MWCO	膜の公称孔径*	ウイルスまたは粒子直径
50K	5 nm	15 - 30 nm
100K	10 nm	30 - 90 nm
300K	35 nm	90 - 200 nm
1000K	100 nm	300 - 600 nm

プライマーの除去が必要な場合や、制限酵素による分解物からアダプターを回収する必要がある場合には、PCR産物の大きさにかかわらず濃縮には100Kデバイスを使用します。

* 公称孔径は、走査型電子顕微鏡で測定したものです(50Kは推定値です)。

マイクロセップ アドバンス 遠心ろ過デバイス

5.0 mL までの試料を迅速かつ正確に
濃縮回収

- 低タンパク・DNA吸着性限外ろ過膜
(オメガメンブレン)とハウジング
- 90%以上の高回収率
- 広い有効ろ過面積(3.3cm²)により
迅速な試料処理
- デッドストップ構造により濃縮液を確保
- 豊富な分画分子量サイズ
- カラーコードにより簡単識別



アプリケーション

限外ろ過 (オメガメンブレン)

- 電気泳動前の希釈タンパク質の濃縮
- タンパク質・核酸の濃縮・脱塩
- クロマト分画のバッファー交換・脱塩
- 薬物・アミノ酸・抗体のHPLC分析前の
サンプル調製(除タンパク質・除粒子)
- 培養ブロスからの低分子化合物の分離
- 細胞培養上清あるいはライセートからの
生体分子の回収
- PCR産物からのプライマー除去
- ハイブリダイゼーション用プローブ精製、
未結合ヌクレオチドの分離

精密ろ過 (スーポアメンブレン)

- HPLC分析前のサンプル清澄化
- アガロースゲルからDNAの分離
- ポリアクリルアミドゲルからのタンパク質・
オリゴヌクレオチド・RNAの分離
- 分析前の培養液からの細胞の除去
- 生体分子サンプルのろ過
- 微粒子・ビーズの洗浄と回収
- クロマトグラフィー用レジンを詰めて分析用途
あるいはプロセス開発に

仕様

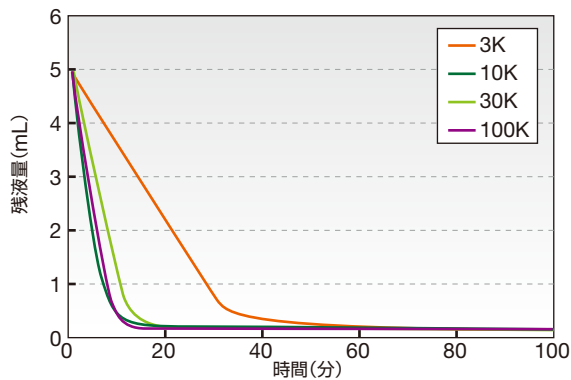
構成素材	限外ろ過膜：オメガ(3K・10K・30K・100K) 精密ろ過膜：スーポア(PES) (0.2 μm・0.4 μm) デバイス材質：ポリプロピレン
有効ろ過面積	3.3 cm ²
寸 法	外径：17 mm 全長：12 cm
最大サンプル容量	5 mL
許容遠心力	7,500×g
最終濃縮容量 (デッドストップ容量)	アングル角度34°：100 μL アングル角度45°：80 μL スイングバケット：65 μL
最大リザーバー容量	6.5 mL
残液量	1~14
許容遠心力	限外ろ過膜：7,500 xg 精密ろ過膜：14,000 xg
許容pH範囲	限外ろ過膜：1~14 精密ろ過膜：1~14
適応遠心機ローター	標準的 17×100 mmコニカルチューブ
殺菌方法	使用前に 70%エタノールで遠心ろ過

性 能

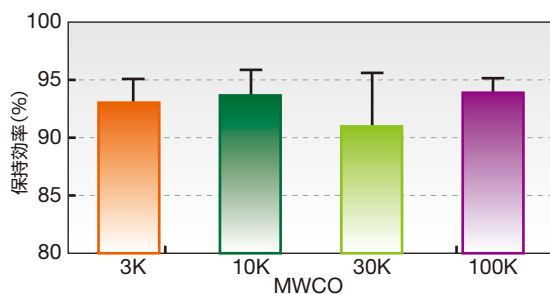
ローターとデッドストップ容量

ローターアングル	デッドストップ容量
スイングバケットローター	65 μL
45°固定アングルローター	80 μL
34°固定アングルローター	100 μL

遠心ろ過時間



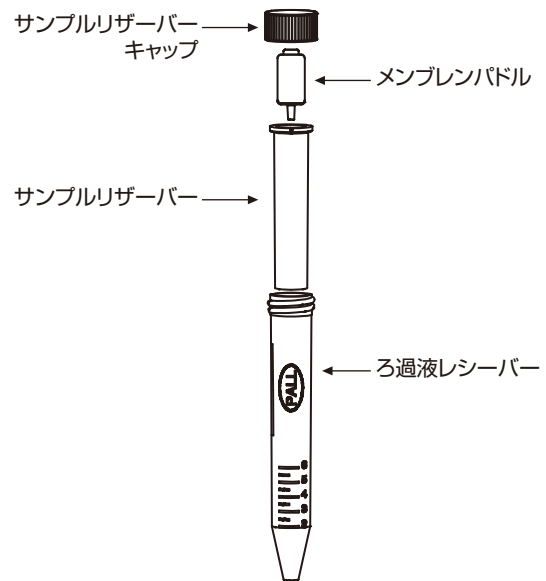
保持効率



タンパク質溶液

3K : 250 μ g/mL Cytochrome C,
10K : 1mg/mL BSA,
30K : 1mg/mL IgG,
100K : 1mg/mL Thyroglobulin
ローター : 34°固定アングル、
回転速度 : 5,000g

使用方法



1. キャップを外し、試料0.1~5mLをピペットでサンプルリザーバーに滴下します。遠心ろ過中の蒸発を抑えるためにキャップします。
2. 17x100mmサイズのコニカルチューブ用遠心ローターにセットします。
注) 対称面に別のマイクロセップアドバンスに水等を加えて同重量にしてローターのバランスを取ります。
3. 推奨された遠心力で必要時間遠心ろ過します。
1) 限外ろ過: 3,000-7,500xgで遠心ろ過しますが、通常30-90分で目的とする濃縮容量になります。必要であれば各アプリケーションごとに遠心時間と遠心力を最適化することをお勧めします。
2) 精密ろ過: 14,000xgで1-3分遠心ろ過します。
4. 遠心機からデバイスを取り出し、サンプルリザーバー内の濃縮液あるいはろ過液リザーバー内のろ過液を回収します。
1) 目的物がサンプルリザーバー内の場合はピペットで採取し市販のマイクロチューブに入れて保存します。
2) 目的物がろ過液リザーバー内の場合は、サンプルリザーバーを廃棄し、キャップを閉めて保存します。

使用上の注意

ダイアフィルトレーション(脱塩・バッファー交換)

脱塩あるいはバッファー交換法

1. 試料を少なくとも10倍濃縮します。
(マイクロセップアドバンスであれば20mLを2mLに濃縮)
2. 交換したいバッファーでもとの容量に戻します。
3. この操作を3~5回繰り返すことで、95~99%の塩、バッファーを除去することができます。

SDS-PAGE電気泳動用サンプル調製

マイクロセップアドバンスはSDS-PAGE電気泳動用サンプル調製が簡単にできます。

1. 5~60 μ gのタンパク質を含む50~100 μ Lのサンプルをマイクロセップアドバンスにピペットします。
2. バッファーで試料を希釈し、全量を5mLに戻します。デッドストップまで遠心を行います。この操作を2回繰り返してください。
3. この濃縮サンプルをマイクロ遠心チューブに移します。SDSを添加し、キャップを閉めて80℃で10分以上過熱します。
4. インキュベーターあるいは温浴から取り出し、ジチオスレイトールを添加し、56℃でインキュベートします。
5. インキュベーターから取り出し、室温まで冷却します。電気泳動用ゲルを用意します。(Laemmli, U.K., Nature 227, 680-685, 1970 に準拠)

製品番号	製品概要	包装単位
マイクロセップ遠心ろ過デバイス オメガメンブレン		
MCP001C41	1K、イエロー	24/箱
MCP001C46	1K、イエロー	100/箱
MCP003C41	3K、グレー	24/箱
MCP003C46	3K、グレー	100/箱
MCP010C41	10K、ブルー	24/箱
MCP010C46	10K、ブルー	100/箱
MCP030C41	30K、レッド	24/箱
MCP030C46	30K、レッド	100/箱
MCP100C41	100K、透明	24/箱
MCP100C46	100K、透明	100/箱

マイクロセップ遠心ろ過デバイス スーボアメンブレン		
MCPM02C67	0.2 μ m、アクア	24/箱
MCPM02C68	0.2 μ m、アクア	100/箱
MCPM45C67	0.45 μ m、ワイルドベリー	24/箱
MCPM45C68	0.45 μ m、ワイルドベリー	100/箱

マクロセップ アドバンス 遠心ろ過デバイス

20 mL までの試料のロスを抑えて迅速に濃縮回収

- 低タンパク・DNA吸着性限外ろ過膜（オメガメンブレン）とハウジング
- 90%以上の高回収率
- 試料 20 mLを 0.5 mLに迅速濃縮
- デッドストップ構造により濃縮液を確保
- 豊富な分画分子量サイズ
- カラーコードにより簡単識別



アプリケーション

限外ろ過（オメガメンブレン）

- 電気泳動前の希釈タンパク質の濃縮
- タンパク質・核酸の濃縮・脱塩
- クロマト分画のバッファー交換・脱塩
- 細胞培養ブロスからの生体分子の採取
- ウイルスの濃縮あるいは除去
- タンパク質混合液からの粗分画
- 細胞ライセート中のデブリスや粒子除去

精密ろ過（スーポアメンブレン）

- HPLC分析前のサンプル清澄化
- アガロースゲルからDNAの分離
- ポリアクリルアミドゲルからのタンパク質・オリゴヌクレオチド・RNAの分離
- 分析前の培養液からの細胞の除去
- 生体分子サンプルのろ過
- 微粒子・ビーズの洗浄と回収
- クロマトグラフィー用レジンを詰めて分析用途あるいはプロセス開発に

仕様

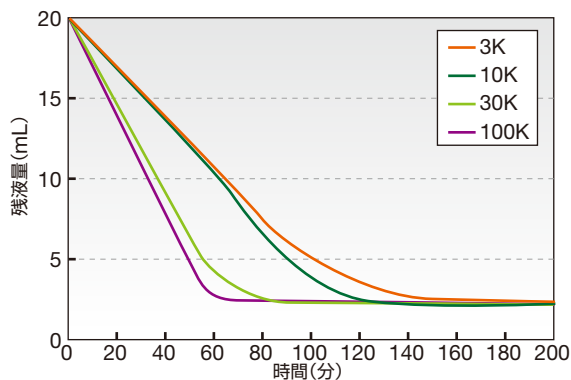
構成素材	限外ろ過膜：オメガ(3K・10K・30K・100K) 精密ろ過膜：スーポア(PES) (0.2 μ m・0.45 μ m) デバイス材質：ポリプロピレン
有効ろ過面積	7.2 cm ²
寸法	外径：50 mm 全長：12 cm
最大サンプル容量	20 mL
最終濃縮容量 (デッドストップ容量)	アングル角度34°：1.5 mL アングル角度45°：1.2 mL スイングバケット：450 μ L
最大リザーバー容量	22 mL
残液量	80 μ L
許容遠心力	限外ろ過膜：5,000 xg 精密ろ過膜：14,000 xg
許容pH範囲	限外ろ過膜：1～14 精密ろ過膜：1～14
適応遠心機ローター	標準的 50 mLコニカルチューブ
殺菌方法	使用前に 70%エタノールで遠心ろ過

性能

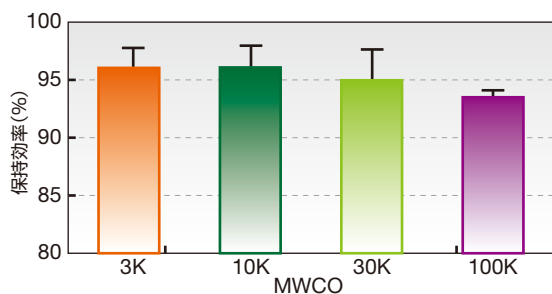
ローターとデッドストップ容量

ローターアングル	デッドストップ容量
スイングバケットローター	450 μ L
45°固定アングルローター	1.2 ～ 1.5 mL
34°固定アングルローター	1.5 mL

遠心ろ過時間



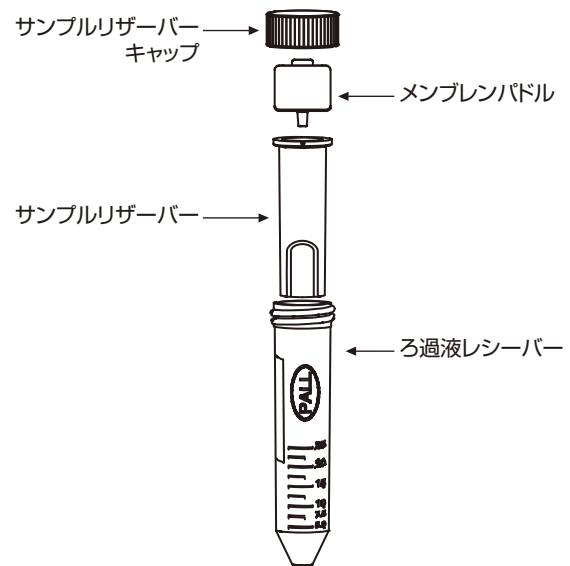
保持効率



タンパク質溶液

3K : 0.1% Protamin Sulfate in 1xPBS,
10K : 0.025% Cytochrome C in 1xPBS,
30K : 0.1% IgG in 1xPBS,
100K : 0.1% Apoferritin in 1xPBS
ローター : スwingバケットローター、
回転速度 : 5,000xg

使用方法



1. キャップを外し、試料5~20mLをピペットでサンプルリザーバーに滴下します。遠心ろ過中の蒸発を抑えるためにキャップをします。
2. 50mLコニカルチューブ用遠心ローターにセットします。
注) 対称面に別のマイクロセップアドバンスに水等を加えて同重量にしてローターのバランスを取ります。
3. 推奨された遠心力で必要時間遠心ろ過します。
1) 限外ろ過: 1,000-5,000xgで遠心ろ過しますが、通常30-90分で目的とする濃縮容量になります。必要であれば各アプリケーションごとに遠心時間と遠心力を最適化することをお勧めします。
2) 精密ろ過: 14,000xgで1-3分遠心ろ過します。
4. 遠心機からデバイスを取り出し、サンプルリザーバー内の濃縮液あるいはろ過液レシーバー内のろ過液を回収します。
1) 目的物がサンプルリザーバー内の場合はピペットで採取し市販のマイクロチューブに入れて保存します。
2) 目的物がろ過液レシーバー内の場合は、サンプルリザーバーを廃棄し、キャップを開けて保存します。

使用上の注意

プレリンス

ほとんどのアプリケーションにおいてマイクロセップ/マクロセップ・アドバンスはプレリンスする必要ありませんが、デバイス由来の溶出物を特に抑える必要性がある場合は以下の操作を行います。

1) 精密ろ過デバイス

スーパアメンブレンに対して薬品適合性のある有機溶媒であることを確認のうえ、溶媒5mL(マイクロセップアドバンス)あるいは20mL(マクロセップアドバンス)をデバイスに添加し、14,000xgで1分間遠心ろ過してください。ろ過液は廃棄してください。薬品適合性が分からない場合はラボ製品グループにお問い合わせください。

2) 限外ろ過デバイス

オメガメンブレンはグリセリンとアジ化ナトリウムを含みます。これらがアクセイに影響を及ぼすと考えられる場合は、5mL(マイクロセップアドバンス)あるいは20mL(マクロセップアドバンス)のイオン交換水あるいはバッファーを遠心ろ過することで除去できます。この操作で不十分な場合は0.05N/NaOHで遠心ろ過し、再度イオン交換水かバッファーを遠心ろ過します。プレリンス後は20分以内に使用してください。

非特異吸着

オメガメンブレンはタンパク質結合を最小にするためポリエーテルスルホン(PES)を表面修飾しています。オメガメンブレンは再生セルロースメンブレンに比べて同等以上の回収率と優れた薬品適合性を有します。デバイスへの吸着はμgあるいはngレベルのタンパク質の精製において大きな問題となります。マイクロセップ/マクロセップ・アドバンスはメンブレンおよびハウジングに非特異吸着がないよう設計されていますが、特に粘性の高い生体高分子等の場合吸着の恐れが生じます。その場合以下の前処理を推奨します。

1. 10%グリセリン溶液5mLを加え、室温下一昼夜放置します。
2. 脱イオン水で洗浄します。
3. 再度イオン水を満たし、遠心ろ過を数回繰り返します。

製品番号	製品概要	包装単位
マクロセップ遠心ろ過デバイス オメガメンブレン		
MAP001C36	1K、イエロー	6/箱
MAP001C37	1K、イエロー	24/箱
MAP001C38	1K、イエロー	100/箱
MAP003C36	3K、グレー	6/箱
MAP003C37	3K、グレー	24/箱
MAP003C38	3K、グレー	100/箱
MAP010C36	10K、ブルー	6/箱
MAP010C37	10K、ブルー	24/箱
MAP010C38	10K、ブルー	100/箱
MAP030C36	30K、レッド	6/箱
MAP030C37	30K、レッド	24/箱
MAP030C38	30K、レッド	100/箱
MAP100C36	100K、透明	6/箱
MAP100C37	100K、透明	24/箱
MAP100C38	100K、透明	100/箱

マクロセップ遠心ろ過デバイス スーパアメンブレン		
MAPM02C67	0.2 μm、アクア	24/箱
MAPM02C68	0.2 μm、アクア	100/箱
MAPM45C67	0.45 μm、ワイルドベリー	24/箱
MAPM45C68	0.45 μm、ワイルドベリー	100/箱

ナノセップ & ナノセップMF 遠心ろ過デバイス

わずか5分～15分で、50～500 μ Lの試料を
簡単かつ正確に濃縮、脱塩

- 迅速な試料処理時間
- 低タンパク吸着性のオメガ、バイオイナート、GHPメンブレンによる通常90%以上の回収率
- 広範囲な分画分子量／孔径を識別しやすいように色分け
- 超音波溶着シールの採用でO-リングを使用しない設計になっており、レシーバーへの濃縮液のリークを防止
- GHPメンブレンは、幅広い薬品適合性を持ち、有機溶媒にも耐性。0.45 μ m 孔径によりクロマトグラフィー担体との組み合わせも可能

アプリケーション

- ペプチド、タンパク質、オリゴヌクレオチド、DNA/RNAの濃縮、精製、脱塩
- アガロースゲル切片からのDNAの回収
- ポリアクリルアミドゲルからのタンパク質の回収
- HPLC分析用試料の除粒子

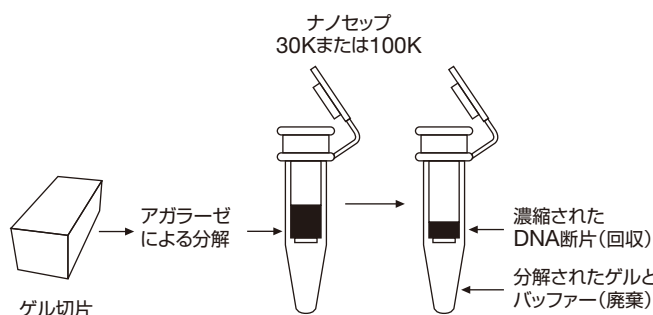


仕様

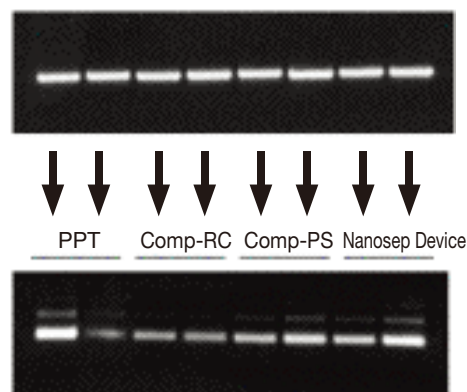
構成素材	ナノセップ 膜材質：オメガ (ポリエチレンサポート付き低タンパク吸着性 修飾ポリエーテルスルホン) レシーバー：ポリプロピレン
	ナノセップMF 膜材質：バイオイナート (低タンパク吸着性修飾ナイロン6,6) GHP (低タンパク吸着性親水性ポリプロピレン) レシーバー：ポリプロピレン
有効ろ過面積	0.28 cm ²
寸 法	全長(キャップを取り付けた状態)：4.5 cm
容 量	最大試料容量：500 μ L 最終濃縮液量：15 μ L レシーバー容量：500 μ L 残液量(膜/サポート)：< 5 μ L
許容温度範囲	0～40℃
許容pH範囲	ナノセップ：1～14 ナノセップMF：3～14
許容遠心力	14,000 $\times$ g
遠心分離機	1.5 mL のチューブが入るアングルローターが必要
殺菌方法	未滅菌で提供 (必要に応じ、使用前に70%エタノールで殺菌が可能)



オメガメンブレンの高いDNA 回収率

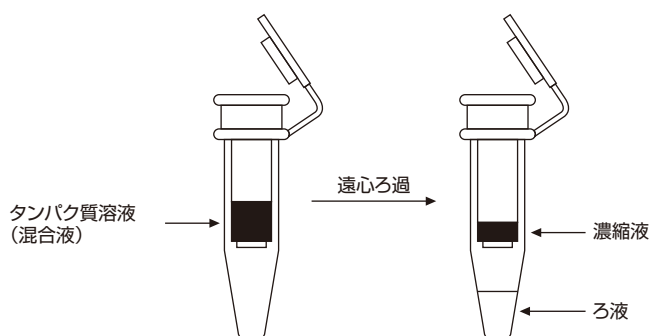


400 bpのPCR産物を8等分し、それらを1%低融点アガロースTAEゲルで電気泳動した。8つの別々のバンドを切り出した後、メーカー(Life Technologies社)の指示に従ってアガーゼで処理した。アガーゼ処理後、2つの試料についてはアガーゼメーカーの指示どおり酢酸ナトリウムとエタノールで沈殿させた。他の6試料は、30Kのナノセップ遠心ろ過デバイス(15分間)と他社製遠心ろ過用UFデバイス(30分間)で遠心ろ過した。濃縮液は、30 μ LのTEで回収した。

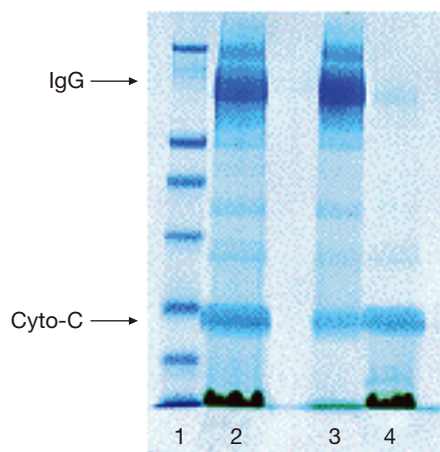


PPT : 沈殿法
Comp-RC : 他社製再生セルロース
Comp-PS : 他社製ポリスルホン
Nanosep Device : 高流速ポリエーテルスルホン

タンパク質の粗分画



IgG(MW:156kD)とシトクロムC(MW:12.4kD)を含む5.0mg/mLのタンパク質試料溶液500 μ Lを100Kのナノセップ遠心ろ過デバイスを用いて、1,000 $\times$ gで30分間遠心ろ過した。
2回の遠心ろ過で、95%以上のシトクロムCがろ液中に認められ、85%以上のIgGが膜により保持された。



レーン1: 分子量マーカー
レーン2: IgGとシトクロムCとの混合液
レーン3: 濃縮液
レーン4: ろ液

製品番号	製品概要	包装単位
ナノセップ遠心ろ過デバイス オメガメンブレン (試料容量: 50 ~ 500 μ L)		
OD003C33	3K, グレー	24/箱
OD003C34	3K, グレー	100/箱
OD003C35	3K, グレー	500/箱
OD010C33	10K, ブルー	24/箱
OD010C34	10K, ブルー	100/箱
OD010C35	10K, ブルー	500/箱
OD030C33	30K, レッド	24/箱
OD030C34	30K, レッド	100/箱
OD030C35	30K, レッド	500/箱
OD100C33	100K, 透明	24/箱
OD100C34	100K, 透明	100/箱
OD100C35	100K, 透明	500/箱
OD300C33	300K, オレンジ	24/箱
OD300C34	300K, オレンジ	100/箱
OD300C35	300K, オレンジ	500/箱

製品番号	製品概要	包装単位
ナノセップMF遠心ろ過デバイス バイオイナートメンブレン (試料容量: 50 ~ 500 μ L)		
ODM02C33	0.2 μ m, アクア	24/箱
ODM02C34	0.2 μ m, アクア	100/箱
ODM02C35	0.2 μ m, アクア	500/箱
ODM45C33	0.45 μ m, ワイルドベリー	24/箱
ODM45C34	0.45 μ m, ワイルドベリー	100/箱
ODM45C35	0.45 μ m, ワイルドベリー	500/箱

製品番号	製品概要	包装単位
ナノセップMF 遠心ろ過デバイス GHPメンブレン (試料容量: 50 ~ 500 μ L)		
ODGHPC34	0.45 μ m, 透明	100/箱
ODGHPC35	0.45 μ m, 透明	500/箱

ナノセップ 濃度選択ガイド

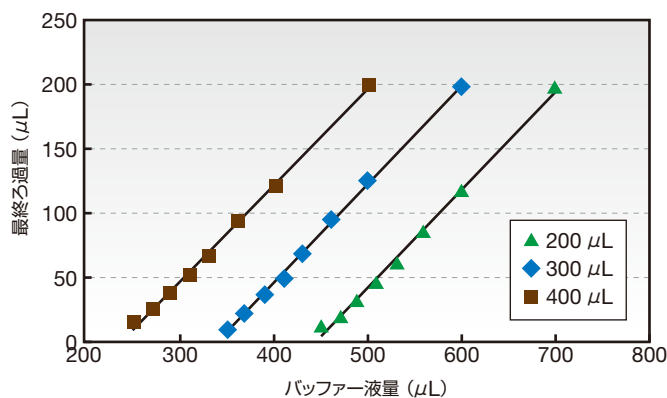
初期サンプル液量 (μL)	最終濃縮ファクター (倍率)	ろ液チューブに加えるバッファー液量 (μL)
200	2	575
200	3	532
200	4	510
200	5	497
200	6	488
200	10	471
200	20	458
200	25	455
300	2	534
300	3	470
300	4	437
300	5	418
300	6	410
300	10	379
300	20	360
300	25	356
400	2	500
400	3	414
400	4	370
400	5	343
400	6	330
400	10	291
400	20	264
400	25	259

ナノセップで最終濃縮液量を一定にしたい場合は、ろ液チューブにあらかじめバッファーを添加して遠心ろ過します。上表では、初期サンプル液量が200、300、400μLの場合で、2.0～25.0倍濃縮にしたい場合のバッファー添加量を示します。例えば初期サンプル液量(200μL)を10倍濃縮したい場合、ろ液チューブに471μLのバッファーを加えて十分に遠心ろ過すれば20μLの濃縮液体がメンブレンカラムに残ります。

初期サンプル液量 (μL)	最終濃縮ファクター (倍率)	ろ液チューブに加えるバッファー液量 (μL)
200	10.0	471

このナノセップ濃度選択ガイドは、タンパクサンプルの濃縮に関する推奨方法を示しています。

目的の濃縮倍数に合わせてろ液チューブにバッファーを添加することにより、正確にデッドストップ液量を設定することができます。



1mg/mL濃度のIgG溶液(PBSバッファー)を用いたデータ。
2,500 xgで20分間遠心ろ過した。

注)このデータは1mg/mL濃度のIgG溶液を用いた結果であり、実験条件(サンプル濃度、形状等)により違いが生じることがあります。

ジャンボセップ 遠心ろ過デバイス

15 ~ 60 mLの生体試料の
濃縮、精製、ダイアフィルトレーションに

- 迅速な試料処理時間
- 低タンパク吸着性のオメガメンブレンによる
通常90%以上の回収率
- 広範囲な分画分子量／孔径を識別しやすい
ように色分け
- 独自のシール機構の採用でO-リングを使用
しない設計になっており、レシーバーへの
濃縮液のリークを防止
- 遠心ろ過完了時の乾燥固着を防止する
デッドストップ機構を内蔵
- リザーバーとレシーバーはオートクレーブ後、
再使用可能

アプリケーション

- ペプチド、タンパク質、オリゴヌクレオチド、DNA/RNAの
濃縮、精製、脱塩
- 細胞培養上清や細胞破碎液中の生体分子の回収
- HPLC分析用試料の除粒子
- ウイルスの濃縮や除去
- 低濃度のタンパク質混合液の粗分画



仕様

構成素材	膜材質：オメガ(ポリエチレンサポート付き低タンパク 吸着性修飾ポリエーテルスルホン) リザーバー、レシーバー：ポリスルホン リザーバーキャップ：ポリエチレン 膜を溶着したインサート(膜以外) ：高密度ポリエチレン(HDPE) レシーバーキャップ、インサートリリース ：ポリプロピレン
有効ろ過面積	15.2 cm ²
寸 法	外径：6 cm、 全高(キャップを取り付けた状態)：11.3 cm
容 量	最大試料容量：60 mL 最終濃縮液量：3.5 ~ 4 mL レシーバー容量：60 mL 残液量(膜/サポート)：0.2 mL
許容温度範囲	0 ~ 40 ℃
許容pH範囲	1 ~ 14
許容遠心力	3,000 × g
遠心分離機	250 mLのボトルが入り、 最大3,000 × gの遠心力が得られる スイングローターが必要
殺菌方法	未滅菌で提供 (必要に応じ、使用前に70%エタノールで殺菌が可能)

製品番号	製品概要	包装単位
ジャンボセップ遠心ろ過デバイス スターターキット (試料容量：15 ~ 60 mL)		
FD000K65	スターターキット (メンブレン不含)	4/箱
FD003K65	3K スターターキット (グレー)	4/箱
FD010K65	10K スターターキット (ブルー)	4/箱
FD030K65	30K スターターキット (レッド)	4/箱
FD100K65	100K スターターキット (透明)	4/箱
FD300K65	300K スターターキット (オレンジ)	4/箱

※スターターキットには、メンブレンインサート、ホルダー、カップ、
キャップが含まれています

製品番号	製品概要	包装単位
ジャンボセップ用メンブレンインサート		
OD003C65	3K メンブレンインサート (グレー)	12/箱
OD010C65	10K メンブレンインサート (ブルー)	12/箱
OD030C65	30K メンブレンインサート (レッド)	12/箱
OD100C65	100K メンブレンインサート (透明)	12/箱
OD300C65	300K メンブレンインサート (オレンジ)	12/箱

製品番号	製品概要	包装単位
アクセサリ製品		
FD001X65	ろ液レシーバーおよびキャップ	12/箱
FD002X65	サンプルリザーバーおよびキャップ	12/箱

薬品適合性

広範囲な薬品適合性を持つため、様々な溶媒での使用が可能です。

薬品		遠心ろ過 デバイス	ナノセップ	マイクロセップ /マイクロセップ アドバンス	マクロセップ /マクロセップ アドバンス	ジャンボ セップ
酸	酢酸 (10%)		R	R	R	R
	ギ酸 (1N)		R	R	R	R
	塩酸 (1N)		R	R	R	R
	リン酸 (1N)		R	R	R	R
	硫酸 (1N)		R	R	R	R
アルコール	ブタノール (70%)		R	R	R	R
	ブチルセロソルブ (10%)		R	R	R	R
	エタノール (70%)		R	R	R	R
	メタノール (70%)		R	R	R	R
	プロパノール (70%)		R	R	R	R
アルカリ	水酸化アンモニウム (1N)		R	R	R	R
	水酸化ナトリウム (1N)		R	R	R	R
エステル	酢酸エチル (10%)		—	—	N	N
	酢酸エチル (100%)		N	N	N	N
グリコール	グリセロール		R	R	R	R
	ポリエチレングリコール (0.1%)		R	R	R	R
ハロゲン化炭化水素	クロロホルム (0.8%)		R	R	R	R
	クロロホルム (100%)		—	—	—	N
ケトン	アセトン (10%)		—	—	—	—
	アセトン (20%)		R	R	R	R
	メチルエチルケトン (10%)		R	R	R	R
その他	アセトニトリル (20%)		R	R	R	R
	塩化アンモニウム		R	R	R	R
	ジメチルホルムアミド (20%)		R	R	R	R
	ジメチルホルムアミド (100%)		—	—	N	N
	ジメチルスルホキシド (20%)		R	R	R	R
	ジメチルスルホキシド (100%)		—	—	N	N
	ホルムアルデヒド (5%)		R	R	R	R
	塩酸グアニジン (6M)		R	R	R	R
	過酸化水素 (10%)		R	R	R	R
	リン酸バッファー		R	R	R	R
	ドデシル硫酸ナトリウム (0.01M)		R	R	R	R
	次亜塩素酸ナトリウム (0.05%)		R	R	R	R
	次亜塩素酸ナトリウム (0.1%)		—	—	—	N
	Terg-a-zyme* (1%)		R	R	R	R
	トリス・バッファー (1M)		R	R	R	R
	Ultrasil 11* (2%)		R	R	R	R
	尿素 (6M)		R	R	R	R

R：耐性あり

メンブレンの流速やバブルポイント*1 値に著しい変化が見られず、化学的侵襲も観測されなかった。

N：耐性なし

メンブレンは基本的に不安定で、使用に適さない。

—：データ不足

情報不十分につき、予備試験を行うことが推奨される。

*1 適切な液で細孔を十分に濡らしたフィルターの一方の側を空気などで加圧した時に、他方のフィルター面から最初に気泡が発生する圧力のこと。その圧力は液体の表面張力に比例し、細孔径に反比例する。

アクロプレップ フィルタープレート

迅速で効果的な生体分子の分離・精製

- 限外ろ過膜オメガメンブレンにより、高い回収率を提供。目的とする生体分子の回収率は通常90%以上
- 新しいウェル形状により、プレート内のより迅速かつ均一なろ過、および残液量の減少を実現
- プレートとメンブレンは低吸着性で、目的分子がプレートへ吸着することを抑制
- プレートは耐薬品性があり生物学的に不活性のポリプロピレン製
- ロボットでの使用に適した一体型成形で、ANSI/SBS X-2004 仕様に準じた設計。プレートは蓋を付けた状態でも、外した状態でも積み重ね可能
- ウェル間の交差汚染なし。メンブレンは独自のシール技術により各ウェルに個別シール。各ウェルは流体ディフレクター付き

アプリケーション

- サイズ選別
- タンパク質やペプチドの濃縮、精製、脱塩
- タンパク質の分離
- PCR産物のクリーンアップ

製品番号	製品概要	包装単位
アクロプレップ・アドバンス96ウェル フィルタープレート、350μL		
8033	オメガ 3K メンブレン	10/箱
8034	オメガ 10K メンブレン	10/箱
8035	オメガ 30K メンブレン	10/箱
8036	オメガ 100K メンブレン	10/箱

製品番号	製品概要	包装単位
アクロプレップ384 フィルタープレート、100μLウェル		
5076	オメガ10Kメンブレン、ロングチップ	10/箱
5077	オメガ10Kメンブレン、ショートチップ	10/箱
5078	オメガ30Kメンブレン、ロングチップ	10/箱
5079	オメガ30Kメンブレン、ショートチップ	10/箱
5081	オメガ100Kメンブレン、ショートチップ	10/箱

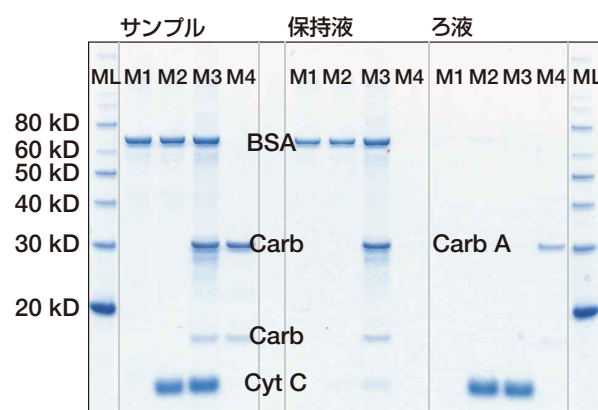


仕様

構成素材	膜材質 : オメガ(修飾ポリエーテルスルホン) プレートハウジング: ポリプロピレン 蓋 : ポリスチレン
寸法	高さ: 1.8 cm(蓋付き)、1.4 cm(蓋なし)、 長さ: 12.8 cm、 幅: 8.6 cm
ウェル底面積	0.25 cm ²
最大ウェル容量	350μL (推奨操作液量 ≤300μL)
推奨吸引圧	34kPa以上
推奨遠心力	1,500 x g
標準的な残液量	14 μL/ウェル以下

性能

吸引ろ過を使用した、オメガメンブレンによるタンパク質の分離



ML = 分子量マーカー
M1 = BSA
M2 = BSA + Cyt C
M3 = BSA + 炭酸脱水酵素 (Carb) + Cyt C
M4 = 炭酸脱水酵素

各タンパク質溶液を100μg/mLで準備し、75μLタンパク質溶液/ウェルでロード。67.8kPaの吸引圧で8分間吸引を行った。吸引ろ過の後、オメガメンブレンプレート30Kで保持されたサンプルとろ過されたサンプル (5μL/レーンを使用) のSDS-PAGE解析を行った。

ミニメイト TFF限外ろ過カプセル

1L 程度のタンパク・抗体溶液の濃縮と脱塩

● 簡単な組立

組立用フィッティングとチューブを同梱しています。この接続チューブを使って、ラボで使用されているポンプに接続して、すぐに使用できます。

● 経済的

ハウジング等主要部品はプラスチック製で、またオメガ膜は幅広い薬品適合性があり、クリティカルではない使用分野では、洗浄や再使用ができます。

● スケールアップ

広い膜面積が必要な場合には、“ミニメイト”を平行につないで使うことができます。パイロットプラントや実生産用の“セントラメイト”や“セントラセット”と同じ流路長を持ち、同じ構成部品を使用しています。そのため、プロセスをスケールアップする時に必要な、同等性確保の時間を節約できます。

● 高い回収率

流路最適化と低いタンパク質結合性のオメガ膜により、タンパク質吸着を最小限にしています。

● 効率的

濃縮操作と脱塩操作が同じ系でできるので、手間が掛かりません。ホールドアップ・ボリュームが少なく、一回の濃縮操作で、高い濃縮倍率が得られます。

● ディスポーザブル

1パッチのみの使用に限定される場合にたいへん便利です。洗浄パレテーションのために必要とされる時間を、最小限にすることができます。

● 信頼性

製造時に、全品完全性試験を実施しています。クリティカルな使用分野では、最初の使用後に、完全性試験を実施できます。本製品には、すべて品質保証書が同梱されています。

仕様

構成素材	フィルターメディア：オメガ(ポリエーテルスルホン) ハウジング：グラスファイバー強化ポリプロピレン スクリーン、ハウジング、ハウジングシールリング、 フィッティングコネクター：ポリプロピレン メディアサポート/ろ過側チャネル：ポリエチレン 内部のガスケット：エチレンプロピレンエラストマー	
有効過面積	50 cm ²	
寸法(L×W×H)	20cm × 3.8cm × 1.8cm	
推奨循環流量値	30 ~ 40 mL/min	
許容温度範囲	5 ~ 50 °C	
許容pH範囲	1 ~ 14	
最大運転圧力	400 kPa	
製品ホールドアップボリューム(還流/透過)	約 1.6 mL	
フォワードフロー値(完全性試験)	≤7/mL/min以下 試験圧：75kPa	

アプリケーション

- タンパク質、ペプチド、核酸(DNA、RNA、オリゴヌクレオチド)の濃縮と脱塩
- 菌体(細胞)分離後の培養液からの抗体、組換え体タンパク質の回収
- 金属感受性の高い酵素や分子の分離プロセス
- 小生体分子と大きな物質との分離(分採)
- ウイルス、遺伝子治療ベクターの濃縮
- カラムクロマトグラフィー前のサンプルの前処理
- ゲルろ過後のサンプル濃縮
- 水、緩衝液、培地溶液の脱ピロジェン

製品番号	分画分子量	包装単位	製品番号	分画分子量	包装単位	製品番号	分画分子量	包装単位
オメガメンブレン ミニメイトTFFカプセル								
OAD65C12	650 D	1/箱	OA010C12	10 K	1/箱	OA100C12	100 K	1/箱
OA001C12	1 K	1/箱	OA030C12	30 K	1/箱	OA300C12	300 K	1/箱
OA003C12	3 K	1/箱	OA050C12	50 K	1/箱	OA500C12	500 K	1/箱
OA005C12	5 K	1/箱	OA070C12	70 K	1/箱	OA990C12	1000 K	1/箱

ミニメイト TFF限外ろ過システム

	ミニメイト TFF システム	ミニメイト TFF リザーバー*2
内容	ペリスタ ポンプ、ポンプヘッド、圧力計、バルブ、リザーバー、スターラー、スターラーバー	圧力計、バルブ、リザーバー、スターラー、スターラーバー
サイズ	30.7cm × 48.2cm × 20.8 cm	30.7cm × 48.2cm × 20.8cm
重量	6.0kg	6.0kg
最大入口圧	410kPa	410kPa
操作温度	0 - 50°C	0 - 50°C
循環流速	10 - 240 mL/min	10 - 240 mL/min
最低稼働容量	< 5 mL	< 5 mL

*2 可変スピードチュービングポンプ(ポンプヘッド付)を用意する必要があります。

製品番号	製品内容	包装単位	製品番号	製品内容	包装単位
ミニメイトTFFシステム			ミニメイトTFFリザーバーアセンブリー		
OAPMP110	115V AC 50/60 Hz	1/箱	OARES110	リザーバーアセンブリー、115V AC 50/60 Hz	1/箱



LVセントラメイト ラボ用タンジェンシャルフローシステム

ラボスケールから最大4Lまで
スケールアップ可能で、
製品回収率を最大限にする設計

- タンジェンシャルフローろ過(TFF)プロセス開発のスケールアップとスケールダウン、バイオ製薬プロセスの小バッチ生産、スケールダウン試験、安全性研究や効率研究(フェーズI臨床)用材料の生産用に設計
- セントラメイトカセットホルダーやセントラセットカセットホルダーと同一の流路長であるため、リニアスケールアップが可能
- LVセントラメイトホルダーは、スケラビリティ特性を上げるために、他のラボ用TFFシステムに付属して使用することも可能
- 低残液量なので、少量の開始容量から高濃度ファクターを実現。生産スケールへのスケラビリティがあり、開発段階や新薬発見段階の一般的使用量の処理に最適化
- SUS316L研磨ルアーロック装着ポートによる容易な接続で、生産スケールのセントラセットホルダーと同じ適合特性を保証

アプリケーション

- 生体分子の濃縮
- 細胞培養上清やライセートからの生体分子の回収および精製
- 生体分子のダイアフィルトレーション、脱塩、バッファー交換
- 混合分子溶液の分画

LVセントラメイトカセットホルダーは、次の部品が付属されています。

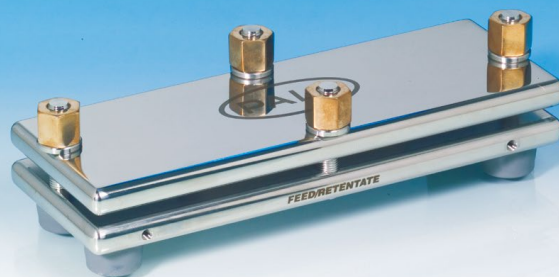
タイロッド付フローディストリビューションマニホールド、ステンレススチール製トッププレート、ステンレス製ワッシャー(4)、真鍮ナット、ネジ付メスルアー(4)、ゴム製O-リング(4)、11/16インチディーブソケット付トルクレンチ、ユーザーガイド、取扱説明書

製品番号	製品内容	包装単位
LVセントラメイト		
CM018LV	LVセントラメイトホルダー	1式
LV0010	専用配管セット	1式
QL25N	トルクレンチ	1本
3ML-11/16	ソケット	1個

上記製品につきましては、別途お見積りいたします。

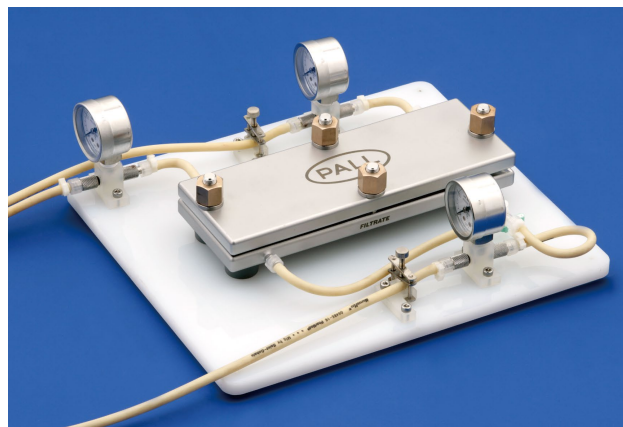
分画分子量	有効ろ過面積(m ²)	サスペンディットスクリーン
スーポアメンブレン セントラメイトLV カセット		
0.1 μm	0.02	PSM10C11P2
0.2 μm	0.02	PSM20C11P2
0.45 μm	0.02	PSM45C11P2
0.65 μm	0.02	PSM65C11P2

上記製品につきましては、別途お見積りいたします。



仕様

構成素材	メンブレンカセット 膜材質:スーポア(親水性ポリエーテルスルホン) オメガ (低タンパク吸着性修飾ポリエーテルスルホン)
カセット ハードウェア	カセットホルダートップと底部プレート : 316Lステンレススチール ルアーフィッティング、タイロッド、ワッシャー : 304ステンレススチール ルアーフィッティングO-リング: EPDM ナット: 真鍮
寸法	長さ: 22.8 cm 幅 : 8.3 cm
標準的な 開始容量	0.02 m ² カセット: 60 ~ 4000 mL
標準的な残液量	1 mL以下
許容使用温度	121 °C
許容使用圧力	500 kPa
推奨循環流量値 Per 0.02 m ² (L/min)	スクリーンチャネル: 0.1 - 0.16



分画分子量	有効ろ過面積(m ²)	スクリーンチャネル
オメガメンブレン T-シリーズ セントラメイトLV カセット		
1 K	0.02	OS001T02
5 K	0.02	OS005T02
10 K	0.02	OS010T02
30 K	0.02	OS030T02
50 K	0.02	OS050T02
70 K	0.02	OS070T02
100 K	0.02	OS100T02
300 K	0.02	OS300T02

上記製品につきましては、別途お見積りいたします。

注意: オメガメンブレンT-シリーズ TFFカセットの保存液は、腐食性のある0.3N水酸化ナトリウムです。ご使用時にプラスチックバッグを開封する際は適切にお取り扱いください。

セントラメイト ラボ用タンジェンシャル フローシステム

プロセス開発および小規模生産における
1~125L容量の処理に最適

- メンブレンカセット[各カセットのろ過面積は0.1m²]を追加するだけで、簡単にろ過面積を0.5m²まで拡張可能
- 同一の流路長のため、ポールの大型プロセス用システムへのリニアスケールアップが可能
- システム配管を分解せずに、容易にメンブレンカセットの取り外しが可能
- SUS316L製のハードウェアで提供
- さまざまな用途に向けて各種メンブレンを提供

アプリケーション

- ラボスケールおよびパイロットスケールでの処理
- 生体分子の濃縮
- 生体分子の回収および精製
- ダイアフィルトレーションおよび脱塩
- 混合分子溶液の分画

製品番号	製品内容	包装単位
セントラメイト		
FS001K10	セントラメイトカセットホルダー、SUS製セントラメイトホルダー、接続用フィッティング、トルクレンチ&ソケット	1/箱
CM00-S-3G2V	セントラメイト配管セット	1式
QL25N	トルクレンチ	1本
3ML-11/16	ソケット	1個

上記製品につきましては、別途お見積りいたします。

分画分子量	サスペンディットスクリーン
スーパメンブレン セントラメイトカセット	
0.1 μm	PSM10C11
0.2 μm	PSM20C11
0.45 μm	PSM45C11
0.65 μm	PSM65C11

上記製品につきましては、別途お見積りいたします。



仕様

構成素材	メンブレンカセット 膜材質:スーパ(親水性ポリエーテルスルホン) オメガ(低タンパク吸着性修飾ポリエーテルスルホン) スクリーン: ポリエステル 封止材: ポリウレタン 裏打ち: ポリオレフィン ガasket: シリコン
カセット ハードウェア	接液部品 セントラメイト: SUS316L タイロッド: ステンレススチール ナット: 真鍮
寸法	13.2cm × 22.6cm × 16.7cm
最小有効ろ過面積 (1カセットあたり)	0.1 m ²
最大有効ろ過面積 (5カセットあたり)	0.5 m ²
標準的な残液量 (カセットあたり)	20 mL以下
推奨使用圧力	30 kPa ~ 520 kPa
配管接続 (供給液、還流液、透過液)	12.7 mmサニタリー接続
出荷重量	7.7 kg
タンパク質 透過率	オメガVR100Kメンブレン: BSA > 85%; IgG < 5% オメガVR300Kメンブレン: BSA > 97%; IgG > 85%
許容使用温度	ハードウェア セントラメイト: 121℃ カセット: 55℃
許容使用圧力	500 kPa
推奨循環流量値 Per0.1m ² (L/min)	スクリーンチャンネル: 0.5 - 0.8

分画分子量	スクリーンチャンネル
オメガメンブレン T-シリーズ セントラメイトカセット	
1 K	OS001T12
5 K	OS005T12
10 K	OS010T12
30 K	OS030T12
50 K	OS050T12
70 K	OS070T12
100 K	OS100T12
300 K	OS300T12

上記製品につきましては、別途お見積りいたします。

注意: オメガメンブレンT-シリーズ TFFカセットの保存液は、腐食性のある0.3N水酸化ナトリウムです。ご使用時にプラスチックバッグを開封する際は適切にお取り扱いください。



日本ポール株式会社

ラボラトリー事業部

〒163-1325 東京都新宿区西新宿6-5-1

TEL. 03(6386)0993

FAX. 03(6386)0994

取扱販売店

製品の仕様・包装・価格等につきましては予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。